



一
二十三日(日) 安達太良一山箇山下登山道整備作業を
沢に降りられるようになった、
上流に滝も、写真撮りの名所の復活だ

実施した。実は予定表ではこの日は二回目の整備作業、一回目は七月二十六日、梅雨明け直前、一ヶ月前だ。今回も色々あったが、気象庁のHP「今後の雨」で雨雲襲来の状況が無かったため、実施とした。結局天候悪化の予報で延期した。今回も色々あったが、梅雨明け直前、一ヶ月前だ。

天候悪化の予報で延期し、梅雨明け直前、一ヶ月前だ。

梅雨明け最初の登山道整備は、九月上旬第二週あたりに実施考えています。

▼箇山下登山道整備は、十月上旬第二週あたりに実施考えています。

今日の例会で希望取りたいと思います。

今年延期した登山道整備作業が二件あります。六月二十八日予定の「春の僧悟台登山道整備」、七月二十六日の「箇山下登山道整備」一回目です。例会通知でもお知らせしましたが、

延期した 登山道整備の実施について

報告 事務局

箇山下登山道整備、
報告 編集部



第382号
発行所
二本松市鉄扇町
あだたら山の会
編集部

●編集部連絡先
二本松市郭内1-5-5
0243-(22)4245
FAX可
渡辺正

勢至平分岐からの「箇山下ルート」では、沢に変わってしまったいた登山道の「口口さん階段下」で、道の脇を刈払い、歩き易くし



薮刈り



ツル落とし

なときは利用して欲しい。トロロープも一杯纏めてある。この時期勢至平では、黄色い「アキノキリンソウ」、薄紫の「ツリガネニンジン」「ツルリンドウ」の花が見られた。

今回の作業に使った、高



参加者、左端が会員外の口口さん



沢になってしまった、
道の脇刈り込んで、歩き易くした

枝切りばさみは、山で良く
いろいろ人の助け借りて、
みんなで実施していくこと
にしたいものだ。

勢至平に急いだものだ。コ
ス停に急いだものだ。コ
客はここで口漱いで泥まみ
れの手を洗って、奥岳のバ
ス停に急いだものだ。コ
ス唯一の大休憩所、だから
今でもしっかりベンチ設け
られている。沢の写真撮り
の名所でもあった。今度は
ハシノキ林出口の道標に縛
り付けて置いたので、必要

今回もしっかりベンチ設け
られている。沢の写真撮り
の名所でもあった。今度は
ハシノキ林出口の道標に縛
り付けて置いたので、必要

勢至平分岐からの「箇山下ルート」では、沢に変わってしまったいた登山道の「口口さん階段下」で、道の脇を刈払い、歩き易くし

てしまった。

この時期勢至平では、黄

色い「アキノキリンソウ」、
薄紫の「ツリガネニンジン」
「ツルリンドウ」の花が見
られた。

今回の作業に使った、高

道整備は、当会だけではなく

八月十二日(水)

五葉松平登山道で搜索活動

報告 事務局



合流直後、奥が口口さん、手前の人の前に要救助者、上は街の明かり

▼十七時二十二分、生活環境課から出動依頼、東京から來た、八十五歳と八十三歳の夫婦、午前中から連絡がないとの事。

警察から一~二名の出動要請。夜間になるので道案内や電話、出動依頼。会長に電話、繋がらず。

▼十七時二十六分、口口荘に電話、出動依頼、出来る事、食料等の品目も打ち合わせた。二人目は口口

が口口が出てきた、八十五歳と八十三歳の夫婦、午前中から連絡がないとの事。

コ(行動食)、山の会二人分。

▼十八時三十分、事務局奥岳着。レストハウス(売店)で打合せ。どこにいるか不明の由。昨晩はくろがね小屋泊まり、出てから連絡付かない、管理人が確認。当面ロープウェイ山頂駅に行かず、小屋と奥岳の間にはない、

警察も出前い、市職員を捕まえ、二人が薬師尾根を下山した可能性が高いことが分かった。事務局と口口さん(警察)も出前い、市職員を

最後尾一人で降りた、大変だった。次に警官、最後尾口口。私のヘッドライト天文教室で使っていて、暗いままだった(暗い方が良いのだ)。

強力なヘッドライト途中で壊れた。非常用に持っている超小型の LED ライトで

▼十八時四十八分鳥川リフト上部でヘッドランプ二灯を見認。警察からの要救助者 G.P.S 位置情報とほぼ合致する。(恐るべし・G.P.S) 薬師山頂は微風二十三度。はやる気持ちを抑え下山を開始。鳥川リフト降り場の上から「おーい! Sさん!」の呼びかけにハックりとした応答が有った。

消防署員がライトで道を照らして誘導しながら下山、要救助者、ライトを持っていない。

▼十九時二十五分要救助者はロープウェイ山頂駅に行つて、山頂方向と五葉松方向と二手に分かれて捜索。場合に依つては今晩くるがね小屋泊まり、明日早朝から搜索再開。ロープウェイ乗車中、同乗の警察官に電話 GPS の値落とし、一人当たり、スポーツウェア二点、ドリンク二本、おにぎり・菓子パン・ピーナッツチョコが見えます見えるはず、目を向けたら。

▼十九時十五分頃、夜の泊り客用の夕食準備がほぼ終わり一休みしていると事務局から搜索出動要請の電話。先日の湯川ルートの救助出動の装備に行動食と水、泊りに備えツエルトと着替えをオスプレーに詰め

込み十分钟后に家を出た。着くと警察四人、市職員二人が待機状況を聞く。「八十五と八十四歳の東京日黒区・S夫婦が今朝くろがね小屋を出たが、まだ下山していない」。搜索願を出した

(終)

のは東京在住の息子。あまりにも情報がアバウト過ぎて困ったが七人で協議し、他のメンバーが捕まると合流。

▼十九時三十分、要救助者と合流。
▼二十時十一分、口口さん(行動食)、山の会二人分。

合流直後、奥が口口さん、手前の人の前に要救助者、上は街の明かり



奥岳まで下山した要救助者の男性

▼十九時四十五分、奥岳に着くと警察四人、市職員二人が待機状況を聞く。「八十五と八十四歳の東京日黒区・S夫婦が今朝くろがね小屋を出たが、まだ下山していない」。搜索願を出した

二十五分後、後班下山。

▼以下は私が付き添った婦人の話(要約)
「昨年旦那が膝に人工関節を入れる手術をした。リハビリとそれなりのトレーニングを積んで、コースタイ

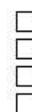
ムも倍を見込み、前泊・小屋泊の余裕ある計画で安達太良に来た。昨日は好天だ

ったがロープウェイが休止、登頂を諦めくろがね小屋へ向かい泊。今朝、小屋から山頂を目指したが、ガス・風雨が強くなり途中でミスコースしてしまい時間と体力を消耗した。小屋泊にはマットとシユラフが必要で計一・五 kg は結構な負担となつた。雨具を付けた行動も難儀した。ロープウェイの終電に間に合せる為と悪天候で昼食は食

七月二十日(月)

磐梯山

報告



磐梯山、八方台登山口

七月二十日朝 雲海の二本松七時三十分出発。木ノ根坂、土湯道の駅から晴れ、吾妻小富士が綺麗、土湯トunnelを出ると、磐梯山が青空の下で綺麗。レークライン・コールドラインを通つて八方台駐車場へ。車は既に六七割。九時三十分、それとも十二時迄に山頂に



長照寺ハス池 H.P.から

入山届を出し、平均年令七十五歳の四人組が入山す。中ノ湯跡まで上がるとき、ベースも落ちて来る。休憩を取りながら登る。弘法清水の実家近くのお寺「長照寺」前のが盛りのハスの花を見学、おまけ付きの山行、楽しむ事が出来た。(長照寺は、野口家の菩提寺で耕田を借りお寺で管理)。

平成二十七年十一月三日、鉄山小屋へ「ホーキ」と「チリ取り(手製)」を上げた時が小屋に行つたの最後、今回は奥岳より挑戦計画では四時間みで出発(七時十五分)。「八の字頭」下の馬車道で二三匹のアサギマダラと会う。勢至平分岐では埼玉か

らだという親子連れ、峰の辻では鉄山小屋泊まり二人から来た女性だった。矢筈

森頂まで案内、山頂へ行くとの事で別れる。別れて間もなく後を振り向くと、私が追いつき鉄山に行った事がないので、案内してくれと言うので、鉄山山頂の三角点まで案内、天気も良いので、見晴らしも良いので、これから一人で下山しますと記念写真を撮り別れる。



鐵山小屋（避難小屋）

報告



□□□さん撮影のくろがね小屋



鉄山山頂、西向地蔵

森頂まで案内、山頂へ行くとの事で別れる。別れて間もなく後を振り向くと、私が追いつき鉄山を行った事がないので、案内してくれと言うので、鉄山山頂の三角点まで案内、天気も良いので、見晴らしも良いので、これから一人で下山しますと記念写真を撮り別れる。

後明日は会津駒を計画しているみたい。今の登山者はピーカンタがが多く、多くの山ツブシを楽しんでいる人が多い様だ。山の良さを知らない人が多い様な気がする。奥岳、予定時間よりは一時間遅れの五時無事で、これから一人で下山し、疲れたが多くの出会いや体験が出来た山行であった。

一人鉄山小屋へ、予定期間より四十分遅れの十二時少し前、鉄山小屋へ。小屋前の「ふうる草(風露草)」、私を待っていてくれた様だ。小屋で一人で昼食をしていると三人ほど小屋に来れる。十二時五十分小屋出発、越後地蔵(西向き地蔵)への道が松に覆われ判らず諦め下山する。くろがね小屋二時二十分。

小屋でコーヒーを飲む、小屋に山の会の大先輩□□さんが昭和三十三年十二月十四日撮影の写真、(旧くろがね小屋)がある。今迄、人が多くて見ることが出来ず、今回はコロナ問題で客が少なく見付ける事ができたと思う、二時四十五分小屋を出発、金明水近くで多くのアサギマダラと逢ふ。森下で登山道から外れ、鳥川の源流を見る為歩いていると、私の後を一人の女性が付いて来る。源流をあきらめ、女性を登山道まで案内、安達太良には二、三回来ていているが、小屋廻りで登るのは始めてという。仙台から来た女性だった。矢筈

森頂まで案内、山頂へ行くとの事で別れる。別れて間もなく後を振り向くと、私が追いつき鉄山を行った事がないので、案内してくれと言うので、鉄山山頂の三角点まで案内、天気も良いので、見晴らしも良いので、これから一人で下山しますと記念写真を撮り別れる。

後明日は会津駒を計画しているみたい。今の登山者はピーカンタがが多く、多くの山ツブシを楽しんでいる人が多い様だ。山の良さを知らない人が多い様な気がする。奥岳、予定時間よりは一時間遅れの五時無事で、これから一人で下山し、疲れたが多くの出会いや体験が出来た山行であった。



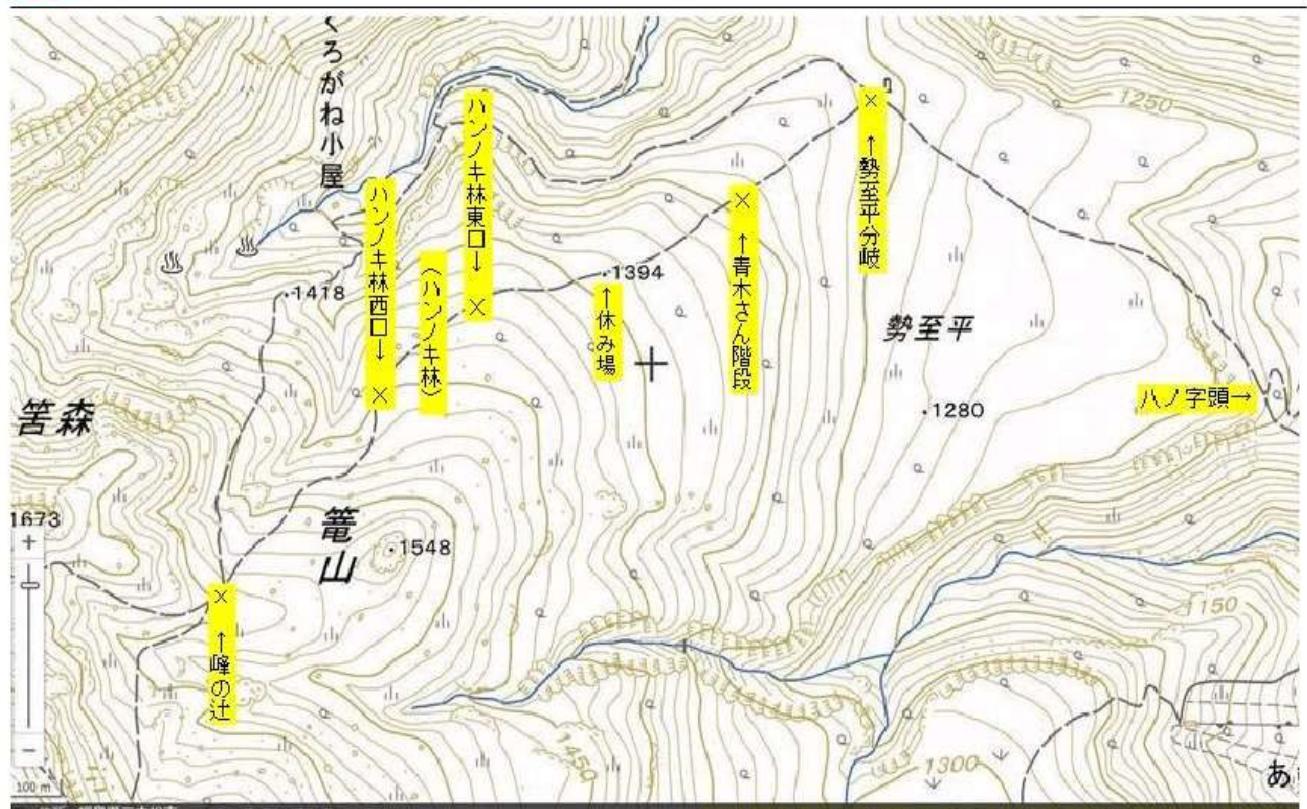
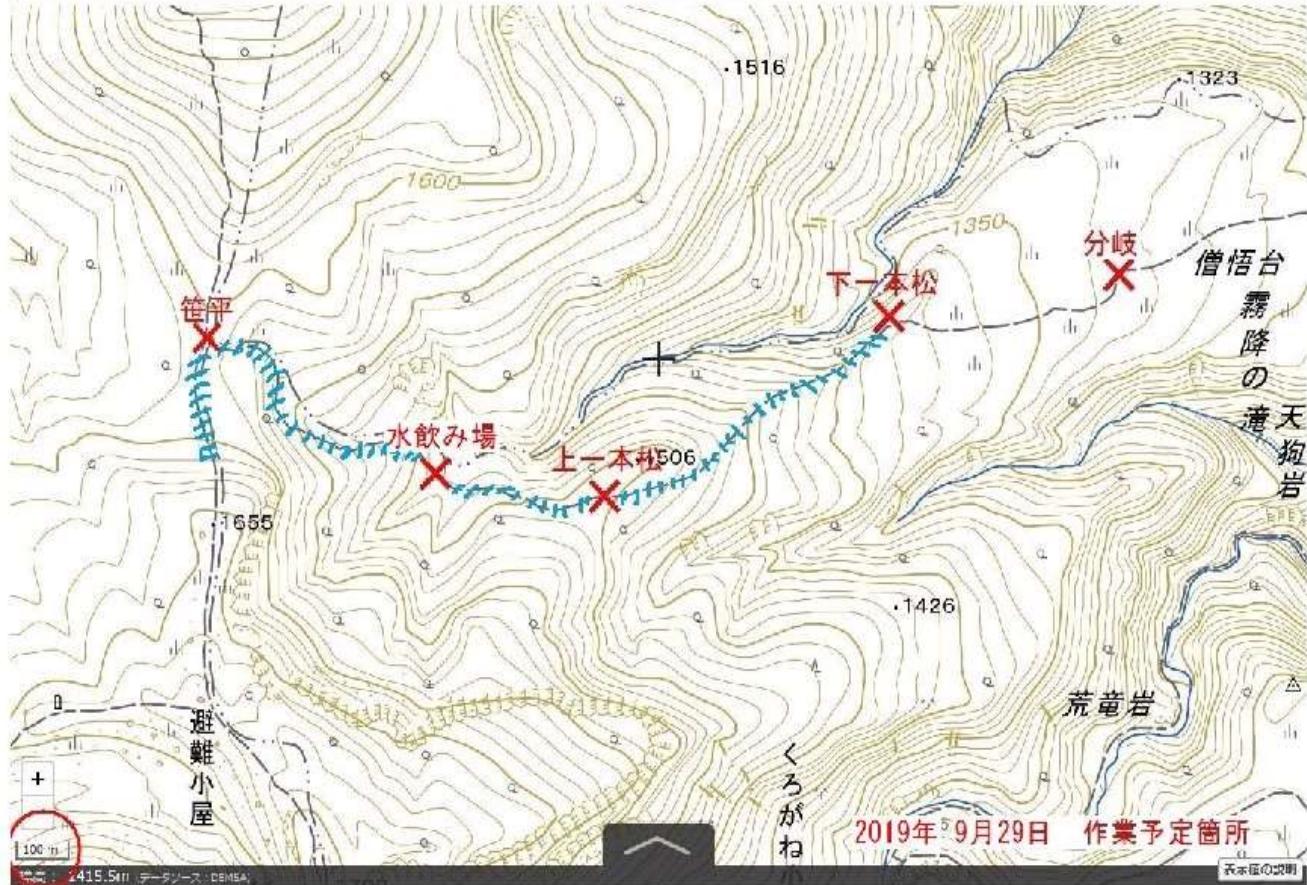
笠山下のタマゴタケ

整備範囲の地図

当会が担当している、安達太良山登山道の整備範囲について、地図で公開します。今回は僧悟台の上半分と笠山下山道について。僧悟台上半分は主に日の長い「春」六月の作業範囲です。今月の第二週にはこの範囲の刈払いを行いたいと思います。

笠山下登山道は、八月二十三日の作業範囲です。次回に当会が担当している、全範囲の地図を公開します。

実は□□さんから、次のような情報がありました。『八月三十日、僧悟台ルートを降りてきた入浴客の話ですが、鐵山の避難小屋から笹平の縦走ルートで三(?)人が刈込鋏を持って刈払いをしていました。それから笹平方面に向けても所々刈払いがしてありました。足元が明瞭で予想以上に歩きやすかったということでした。おそらく来月に開催されるトレランの為のコースの下見を兼ねた整備だと思います』



住所: 福島県二本松市 - (付近の地名、正確な位置を示すとは限りません)
37度37分47.19秒 140度17分59.08秒 37.629774,140.299745 ズーム: 16
UTMズーム: 54SVG38216496
標高: 1396.0m (データソース: DEM50)

2020-08-23 携帯電話のGPSデータによる、
笠山下登山道の各ポイント